

発言通告書（総括表）

令和7年第1回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	小林議員 (自民党)	<p>1. 広報・広聴のあり方について</p> <p>2. 旧外神田住宅解体後の公共施設活用について</p> <p>3. 区道の陥没事故対策について</p>	<p>1. 区政を進める上での広報・広聴活動の位置づけ</p> <p>2. 広報・広聴の主な役割は</p> <p>3. 広報・広聴に関する事業の取組み状況は</p> <p>4. 区民の広報・広聴活動に対する意識の把握は</p> <p>5. 広報・広聴に関する課題は</p> <p>6. 組織・体制に関する課題認識は</p> <p>7. 危機管理・災害時の情報発信体制は</p> <p>8. フェイクニュース・誤情報への対応と訂正方法は</p> <p>9. 広報・広聴の手法（動画配信等）の活用は</p> <p>10. 広報・広聴戦略プランを策定しては</p> <p>1. 旧外神田住宅跡地の公共用地活用について</p> <p>2. 施設整備までの暫定利用について</p> <p>1. 路面下空洞調査の現状は</p> <p>2. 日常点検と整備改修の状況は</p> <p>3. 土木職員の確保状況は</p> <p>4. 国・都との連携状況は</p> <p>5. 国・都への技術支援要請の必要性について</p> <p>6. インフラ改修の効率化とDX（AI活用）の導入について</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
2	田中議員 (国民)	地域コミュニティ活性化の取り組みについて	<p>地域コミュニティの中核である町会等地域活動への区民参加推進のための取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町会の役割は ・ 区 HP の充実とアップデート ・ 窓口や広報、SNS や区内各所の掲示板等への定期的周知 <p>地域の特性に合わせた地域コミュニティ醸成のための支援プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各町会のニーズに応じたサポート ・ 地域の貴重な歴史的文化的資料のデジタルアーカイブ化支援 	区 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和7年第1回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
3	えごし議員 (公明)	防災対策について	<p>近年、大きな震災や豪雨災害が続き、防災に対する国民の意識は高まっています。災害への対策に終わりはないと言われるように、時代や社会環境の変化による新たな課題への対応や、日々の研究や技術の進歩による新たな対策、システム、備蓄品、防災用品等のアップデートなど、本区としても、自助、共助、公助をさらに進めていく取組が必要です。区の考えを伺います。</p> <p>①実践的な防災訓練の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1月21日に行われた「千代田区災害対策本部運営訓練」の評価と課題は？ ・ 地域、小・中学校での防災訓練について <p>②災害時の安否確認について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域での安否確認をどのように進めていくか。 ・ 総合防災情報システム、防災アプリでの安否確認。 <p>③帰宅困難者対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2月14日に千代田区と東京都の合同で行われた「帰宅困難者対策訓練」の評価と課題は？ ・ ネットへのアクセス集中への対応はどうか？ <p>④ペットとの避難について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区内の避難所では同行避難が可能だが、課題もいくつか挙げられている。同伴（同室）避難の場所の確保・検討も必要では。 <p>⑤防災テントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園や運動場など屋外の屋根がない場所で、雨風を避けることができるテントの整備を。 	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
4	白川議員 (自民)	<p>■神田警察通りの道路整備工事について</p> <p>1.行政側は、神田警察通り整備工事を進める覚悟をどれほど持っているのか。</p>	<p>・ 神田警察通りは、平日の人通りが多く、一方通行であるために自転車が歩道を通行することが危険。</p> <p>・ 錦町三丁目施設の周辺では、車椅子やベビーカーが安全にすれ違えるスペースが必要。</p> <p>・ 警察署や税務署などの重要施設があり、学校も多い地域で歩道の拡張は有意義。</p> <p>・ 資材や資源価格は高騰し、工事関係の労働者不足もますます深刻化して、工事費が高騰しつつある。</p>	区 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和7年第1回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
4	白川議員 (自 民)	<p>2. 千代田区において「樹冠被覆率の低下によって区民による反対運動や抗議が巻き起こった」という指摘があるようだが、これは事実か。</p> <p>3. 本工事の経過や意義についてこれまでホームページで説明することに終始していたが、SNS や動画での発信が必要ではないのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の遅れは、単に完成が遅れるだけでなく、無駄な支出の増加や関係者のモチベーションの低下など、広く悪影響を及ぼす。 ・近隣住人には、伐採が滞り工事の遅れていることに不満を抱く人がさらに増えている。 ・SNS でも「木を切るべき」という意見が圧倒的で、むしろ「いくら反対派が活動しているからと、これほど長くに切らないでいるのは区の怠慢だ」と、行政側に怒りを向ける人もいる。 ・手続き上、何の瑕疵もないことが公に証明されている。 ・最近、反対派の一部が、最近、樹冠被覆率について言及するようになっている。 ・工事の遅れには私たち議員の責任もある。 ・協力できるところは全面的に協力し、支援できるところはできるかぎりの支援を惜しまない。 	区 長 関係 理事者
5	ふかみ議員 (次世代)	「デジタル時代の民主主義」 ブロードリスニングの活用について	<p>1950年代、日本の社会制度は、定年が55歳、平均寿命が約60歳、多世代が一つの家に同居する割合が高い「標準世帯モデル」を前提に設計された。</p> <p>しかし、人生100年時代を迎え、老後が長期化し、単身世帯や核家族が増えている。こうした変化に対し、従来の社会システムでは対応に限界があり、持続可能な自治体主導の制度改革が必要である。そこで、以下の点について区の見解を問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○デジタル技術「ブロードリスニング」は、住民の声を広く集め、効率的な政策立案を可能とする。区における活用可能性について ○「ブロードリスニング」等の手法を活用する際の民意を高度に反映するための運用ルール作りについて 	区 長 関係 理事者

発言通告書（総括表）

令和7年第1回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
6	おのでら議員 (次世代)	給食費無償化の公平性について 中学受験率の高まりと親子の負担緩和について 熱中症対策について	子育て世帯の負担軽減、物価高騰対策として区立学校以外に通っている児童・生徒に対しても給食費相当額の負担軽減を行う自治体数が増加している。私立・国立学校に通う児童・生徒の割合が高い本区こそ公平に支援を行うべきでは。区立九段中等教育学校に通う区外在住生徒の給食費無償化を行っているが公平性は。見解を伺う。 東京都では中学受験率および進学率が年々高まっており、本区においては区立中学校以外に進学する生徒の割合は半数を超える。学習量、精神面、経済面など様々な負担が中学受験に挑戦する親子にのしかかる中、負担緩和策について区はどのように考えているか。また、進学率が低下傾向にある区立中学校の魅力向上の方策等、今後の公教育の在り方について伺う。 日本気象協会の予測によれば2025年は早めの猛暑となり残暑も厳しくなる見込みである。本区においては熱中症予防のために「ひと涼みスポット」の設置やクーリングシェルターを指定してきたが、東京都の平均気温上昇や真夏日の増加傾向を踏まえ一層の対策が必要では。昨年取り組みを開始した日よけパラソルの区内全域での設置について検討状況を伺う。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
7	桜井議員 (自 民)	○インバウンドと本区の民泊施策について 千代田区では本区の特性に配慮した区独自のルールを規定しているがその現状について問う ○松本訓導の勇敢で献身的な行動と本区の対応について	○本区を訪れる外国人も宿泊をされる方、スルーをされる方など様々で区は現在の宿泊状況についてどのように捉えているか ○一時、民泊を認めることで風紀が乱れる、犯罪につながるなどの心配があった。区へはゴミ出し、大声、セキュリティーなどの苦情が寄せられているか又その指導は ○オフィスビルを活用して民泊を行うケースに心配が寄せられている。現状と対応は ○今、この話を知る人は数少ないと思うが、どれだけの方が知っているのだろうか。 ○本件について区としての把握はどのようになされてきたのか。 ○記念碑は石碑としての価値も歴史的な価値も認められる中、千代田区は文化財相当の扱いをすべきと考えるがどうか ○松本訓導の我が身の危険を顧みず勇敢で献身的な行動は教師の鏡といえるもので、これからも伝え続けられるべきと考えるがどうか。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和7年第1回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
8	牛尾議員 (共産党)	<p>①中高生の遊び場や居場所づくりについて</p> <p>②子育て世代への支援について</p> <p>③区の平和事業について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・暫定的ではなく、恒常的に使うことができる遊び場や広場の設置を求める ・中高生の居場所づくりを求める ・子育ての「経済的支援」と言うならば、収入が無い子どもの国民健康保険料の無償化を ・区長の核廃絶についての認識を問い、区の平和事業について質問する 	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
9	林議員 (自民党)	<p>○区の仕事のあらまし 令和7年度の取組内容と 複数年度の視点</p> <p>○一人ひとりの健康づくりを 支援 区民歯科健診</p> <p>○民泊と静かな住環境 住宅宿泊事業法と 千代田区住宅宿泊事業の実 施に関する条例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・過去最大予算と主要事業 ・複数年度の視点の定義は？ ・独自施策はいくつあるのか？ ・30歳以上の「成人歯科健診」から19歳からの「区民歯科健診」になった効果は？ ・国民健康保険への影響はあるか？ ・対象者全員への郵送案内となった効果は？ ・国民皆歯科健診 ・歯科口腔条例の成果と課題は？ ・高齢者人口が倍増する千代田区における歯科口腔施策の役割と予算の関係 ・民泊条例が施行されてからの実態調査は？ ・オートロックのマンションの実施調査は？ ・調査数と調査人員の推移？ ・周辺からの通報数と対応？ ・立ち入り調査数と効果？ ・モバイル空間統計と民泊の実態 ・今後の課題は？ 	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和7年第1回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
10	小枝議員 (声)	1、官製談合事件の真相 2、健康で幸福なまちづくり	1)官製談合事件について危機管理マニュアルへの追記、および職員が事情聴取された際、区（上司・危機管理担当）への報告義務。 2)有罪判決を受けた元区議が依頼した弁護士は、懲戒処分を受けた元政策経営部長が紹介したのか。 3)懲戒処分を受けた元政策経営部長が元議員に紹介した弁護士が「神田警察通り仮処分命令」で委託した弁護士だったのか、他。 4)「再発防止対策検討委員会」および「有識者会議」で、現副区長・前副区長・元区議会議員、前政策経営部長等へのヒアリングは行ったか、他。 5)昨年10月予算決算特別委員会における樋口区長のパワハラもしくはカスハラについて。 6)令和4年9月の第一次捜査およびその後の調査。 7)信頼回復に向け、第三者委員会の設置、刑事確定記録を元に報告書を早急に作成し直す必要性、ほか。 1)ニューヨーク事例に見るウォークブルまちづくりについて。 2)大阪御堂筋の事例に見る街路樹管理や景観保存に学ぶ。	区 長 関係 理事者
11	のぎわ議員 (維新)	1. 防犯カメラ 2. 中高生1人あたり1.5万円支給・給付型奨学金の所得制限撤廃 3. 陥没事故の対策	(1)町会等が設置した防犯カメラの管理 (2)補助率を100%にしてほしい（補助金の見直し） (3)幼稚園、学校の通学路に防犯カメラを設置する。 (4)法人、個人の防犯カメラも補助金を利用して設置は？ (5)区保有・管理の電灯、建物にも防犯カメラを設置は？ (6)防犯カメラにAI機能を活用した青パト運用は？ (7)防犯カメラのデータ活用研究検討はいかが？ (1)所得制限撤廃での実施はいかが？ (2)どういう考え方でおやりになるのか？ (3)どういう方針でおやりになるのか？ (1)千代田区内の全道路の図面保管・管理は？ (2)発生した後の近隣への影響、災害対策の準備は？	区 長 教 育 長 関係 理事者

発言通告書（総括表）

令和7年第1回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
11	のざわ議員 (維新)	4. ふるさと納税制度について 5. 非常用発電燃料の劣化について行政が認識しているか？	(1) 数字的実績と今後の見通し (2) 返礼品の内容について (3) 使い道を指定した寄附について (1) 避難施設において、備蓄された燃料の品質劣化に対応するため、適切なチェック体制の整備と燃料の入れ替え支援を行い、非常時に停電しない環境を整備しているか？	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
12	はやお議員 (自民党)	(経緯) 1. 日比谷ミッドタウンステップ広場住民訴訟が終結して 2. この住民訴訟を踏まえた区の今後の対応について	日比谷ミッドタウンのステップ広場（区所有の土地建物）については、百条委員会（2019年）の調査を通じて、本来、千代田区が得るべき利益を毀損していることが確認された。 2021年11月、区が毀損状態を改善しないのは違法であることの確認を求めた住民訴訟が提訴された。同訴訟は2024年12月、区の財産を保有するために被告（区）と日比谷エリマネ社とが覚書を締結し終結した。 しかしその後も区は覚書の履行に向けた具体的な改善策を明示していない。区民の財産の適切な管理のため速やかな改善を求めるとともに、同訴訟の経緯を踏まえ二度とこのようなことが起こらぬよう、以下について問う。 (1) 「要請書」から調書添付の「意見」への変更について ・ステップ広場の契約時の担当部長であり、現在は副区長の任にある坂田融朗氏により、一連の変更が求められた。その経緯と事実について確認する。 (2) 区と日比谷エリマネ社の「覚書」の意味について ・覚書により、区民の財産の確保が担保されることとなったことについて確認する。 (1) 今後の区の財産管理について ・収支チェックについて、区はどのように(いつ・誰が)するのかを問う。 (2) 区政の重要事項に関する意思決定過程について ・無償貸付に関する意思決定過程を今後はどのようにするのかを問う。	区 長 副 区 長

発言通告書（総括表）

令和7年第1回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
13	岩田議員 (次世代)	千代田区の『官製談合防止法違反事件』について問う 区内における小中学校の問題点について問う	「区長は本件について、今でも『議員のパワハラが原因』であると思っているのか。内部調査だけの報告書をもって本件は全て終結し、組織として膿を出し切れたと思っているか。本件について、公職選挙法におけるデメリットはどのようなものがあるのか。」など、官製談合防止法違反事件に関することについて区長に問う。 不登校、イジメが起きた時の子どもに対するサポート、及び教員に対する対応、そして学校の対応について問う。	区長 教育長 関係理事者
14	小野議員 (次世代)	1, 持続的に発展するまちづくりと地域の活性化支援について 2, 子育て環境の整備支援策について	(1)町会をはじめとする地域振興支援の必要性は、令和7年度の町会支援プログラムなどからも区が認識されていることは分かるが、これまでも町会関係者の声を細やかに聴いてきた経緯があると認識している。区の描く「地域が活性化されている状態」と、「現段階で把握されている課題と解決までのマイルストーン」についてうかがう。 (2)町会支援について、声を聴く対象者の拡大や、現段階で問題が明確になっている地域への支援も検討が求められると考えるがいかがか。 (3)地域企業が自主で取り組むゼロ・ウェイストプロジェクトを把握し、区も共に推進する等を検討してはいかがか。 (1)登下校時の安全安心について、防犯カメラの設置が予算化された。R6年第二回定例会で子どもの安全の見守りや、即時対応が必要な場合についての見解を求めたが、子どもを取り巻く環境の安全について区の考えを問う。 (2)子どもの遊び場に関する事業が、各種実証などを経て新規や拡充として、施策化されている。今後の遊び場事業の考えを問う。	区長 教育長 関係理事者